

---

インフィニテット・ストラトス～ノアの神とルルイエの邪神～  
じょーたろー

---

暁～小説投稿サイト～ By 肥前のポチ

<http://www.akatsuki-novels.com/>

## 注意事項

このPDFファイルは「暁く小説投稿サイトく」で掲載中の小説を「暁く小説投稿サイトく」のシステムが自動的にPDF化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「暁く小説投稿サイトく」を運営する肥前のポチに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

インフィニテット・ストラトスくノアの神とルルイエの邪神く

### 【作者名】

じょーたるー

### 【あらすじ】

今から3000万年前。超古代都市ルルイエで、翼を生やした巨人と触手を無数に生やす異形が戦っていた。前者の名をウルトラマンノア。後者の名を邪神ガタノゾーア。光と闇の戦いは壮絶を極めた。しかし、『ウルトラマンX』や『ウルトラマンティガ』、『ウルトラマンダイナ』等全世界から集結したウルトラマンとそれを支える錬金術士や陰陽師、魔法使い等の協力でガタノゾーア、ダークザキ達『深淵の闇』は封じられた。そしてウルトラ戦士達は古代人に宿り『魔王獣』を封印し続けた。そして3000万年後。『女尊』が

i sにより生まれた世界。織班一夏はウルトラマンノアが宿りし一族『バジエン一族』の末裔。そして3000万年の時を経て、怪獣が現れる。『SIGATU』も歯が立たない。その時、超古代の守護神『ウルトラマンティガ』、伝説の英雄『ウルトラマンダイナ』、調和を保ちし神『ウルトラマンノア』が現れる！

巨人ーウルトラマンー

『・・・イト・・・』

『ユナイト・・・ユナイト・・・』

ある少女は夢で話し掛けられている。

『ノア・・・ウルトラ・・・』

ある少年も夢で話し掛けられている。

『光・・・超・・・代・・・』

ある青年も夢で話し掛けられている。

ーS I G A T U本部ー

此処はS I G A T U本部。ごくまれ、いや数十年に一度現れる怪獣を倒す組織であるS I G A T Uの最前線である。

其のベランダで一人の青年が手元にある『リーフラッシャー』を見つめ、空を見上げる。

「ダイナ・・・ティガやノアにコンタクト取れたか？」

『いや・・・分からない。』

「そっか・・・」

ー朝ー

「一夏ー！飯だ！」

「千冬姉、今いく！」

少年の首には『短剣』の用な物が掛けられている。

「千冬姉、今日決勝でしょ？」

「ん？ああ。そうだ。」

「頑張ってるね。」

「言われなくとも。一夏こそ、受験頑張れよ！」

「はいはい。」



.....街は閃光に包まれる。

そして、閃光の後、怪獣と人々の間に立っていたのは、

『ウルトラマン』

だった。

銀色の翼を持ち、Vのカラータイマーが胸元に有る巨人は、怪獣に向かって行く。

怪獣の一体、高次元補食体ボガールが巨人を攻撃する。

「フッ！」

ボガールは巨人の力の少し込めたパンチだけで腕をえぐりとられる。

「ギャイイイイイ!?」

しかし、怪獣の連携で巨人は吹き飛ばされる。

「グアッ!!」

すると人間の女性達は

「早く立ちなさいよ！」

と罵声を浴びせる。しかし、男達はかつて夢見たヒーローを見て、

挿入歌「英雄」

「ガンバレーー！」

「俺たちがついてるぞー！」

「俺達は応援するぞー！」

「そこだー！」

と応援していた。すると、

「エックス—————！」

「ジェアッ！」

『ウルトラマンエックス、ユナイテッド』

「ジェアッっ！」

ガッ！

「おお！仲間だ！」

さらに、

「ダイナアアアアアアアアア！」

キイイイイイイイン！

「ジュア！」

「ティガアアアアアアアア！」

「デアアツ！」

三人のウルトラマンがやって来たのだ。

『エックス、ティガ、ダイナ！』

『ノア、いくぞ！』

四人は光線技のポーズを取る。

「『サナディウム光線！』』

「ライトニング・ノア！」

「ゼペリオン光線！」

「ソルジェント光線！」

ドゴオオオオオオオオオオオオオオオオオオ！

「ジェアッっ！」

巨人は空へ帰って行った。

-----

「な、なんだったんだ！？」

「一夏は短剣、いや『エポリウルバー』を見ていた。」

「君はウルトラマンになったんだよ。」

「ウルトラマンエックス」

『X i o』と書かれた制服の青年が話し掛ける。

『私はウルトラマンエックス。さっきのエックスのカラータイマーのウルトラマンだ。』

「君はウルトラマンノアになった。詳しい事は、『Xio』で話そう。」



「俺が・・・ウルトラマン？」

ここはXiiの日本支部。先程の巨人、ウルトラマンへの変身の検査の為来たが、こんな事を言われたのだ。

「検査結果、至って正常よ。」

「良かったあ、じゃ、藍越学園に「ウルトラマンとして、正常と言う意味よ」た、橘さあん・・・」

「兎に角、貴方は本日付けでXiiの日本支部隊員に任命します。あと、なんかis適性が高いので、大地ともう三人と一緒にis学園に転入してもらいます。isはxiiが作るから、安心して。」

「あんまりだああああああ」

「一夏君、落ち着いて落ち着いて」

「では転入まで『キングクリムゾン』！！！！」

転入生徒

ウルトラマンノア  
織班一夏 その他にクトゥールの神の力が使えてしまう。理由は不明

朝倉リク (ウルトラマンジード)

切咲 ジャック 切咲を変換すると切り裂き。繋げて読むと・・・

大空 大地 (ウルトラマンエックス)

マドカIIダイゴ (ウルトラマンティガ)

ディオ・ブランドー

空条 丞太郎

吉良 吉影

花典院 憲昭

東方 丞助



---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
[http://www.akatsuki-novels.com/stories/index/novel\\_id~19546](http://www.akatsuki-novels.com/stories/index/novel_id~19546)

---

インフィニテット・ストラトス～ノアの神とルルイエの邪神～  
2017年07月14日 22時41分発行